

2. 国立大学図書館協議会・協会関係年表2（平成14年～24年）

年	月 日	事 項
平成14年 (2002)	10月31日	平成14年度第3回理事会開催。(東北大) ・「法人化後の各大学に共通する課題解決プロジェクトチーム」設置
	11月26～27日 (東：千葉大)	第15回国立大学図書館協議会シンポジウム開催。 ・テーマ「国際学術コミュニケーションの展開と展望」
	12月5～6日 (西：九大)	
平成15年 (2003)	3月17日	文科省『学術情報発信に向けた大学図書館機能の改善について(報告)』発表。
	5月30日	平成14年度第4回理事会開催。(東大)
	6月19日	文部科学省の関係局課に要望書を提出。
	6月25日～26日	国立大学図書館協議会第50回記念総会開催。(大宮) ・国立情報学研究所、山梨大学(山梨大と山梨医科大の統合)の加入承認 ・第51回総会以降の総会日程を1日に変更することを承認 ・国立大学図書館協会の会則(案)を大筋で了承し、会費は傾斜方式とすることを了解
	10月30日	平成15年度第3回理事会開催(名大) ・国立大学図書館協会の会則(案)を決定 ・国立大学図書館協会の英文名称を「Japan Association of National University Libraries」とすることを了承
	11月28日	国立大学図書館協会の会則を会員館に送付。
平成16年 (2004)	11月27～28日 (東：一橋大)	第16回国立大学図書館協議会シンポジウム開催。 ・テーマ「国立大学法人化を見据えた大学図書館経営について」
	12月8～9日 (西：神戸大)	
	4月1日	国立大学図書館協会発足。
	5月21日	平成15年度第4回理事会開催。(東大) ・文部科学大臣等に対する要望書の提出見送りを了承
	6月8日	国立大学図書館協会理事会文書回議
	7月1日	第51回国立大学図書館協議会総会開催。(大阪) ・東京海洋大学、福井大学、島根大学、香川大学、高知大学、佐賀大学、大分大学、宮崎大学、国文学研究資料館の加入承認 ・総務委員会、人材委員会、国際学術コミュニケーション委員会、学術情報委員会、経営問題委員会の設置を承認 ・新理事会において会長特別補佐の設置を承認 ・ワークショップを開催 「1. 職員採用から人材育成まで」 「2. 電子ジャーナルの円滑な導入と安定的な運営体制について」 「3. 法人化後の附属図書館の役割について」

平成 17 年 (2005)	8 月 17 日	・総会資料の内容の簡略化 国立大学図書館協会理事会文書回議 ・ICOLC 会議及び日韓 ILL/DD 合同会議への会員館職員の派遣を承認
	10 月 22 日	平成 16 年度第 3 回理事会開催。(京大) ・COUNTER (Counting Online Usage of Networked Electronic Resources) への加入承認 ・監事選出の簡素化を図る「選出手順(案)」を了承 ・国立大学図書館協会賞応募規程の改正(案)、同賞選考基準の改正(案)、同賞受賞者選考委員会規程の廃止(案)を了承
	10 月 25 日	10 月 23 日に発生した新潟県中越地震による被害に対して、長岡技術科学大学附属図書館に水・食糧(20 万円相当)を援助。
	11 月 29～30 日 (西：広島大) 12 月 7～8 日 (東：東京学芸)	第 17 回国立大学図書館協会シンポジウム開催。 ・テーマ「法人化後の大学改革と大学図書館の在り方」
	5 月 20 日	平成 17 年度第 4 回理事会開催。(東大) ・秋の理事会の開催地を全地区による持ち回りとすることを承認 ・監事の東西地区の候補館を選出
	6 月 30 日	第 52 回国立大学図書館協会総会開催。(名古屋) ・岸本英夫博士記念基金を国立大学図書館協会記念基金と名称変更 ・ワークショップ 「A. 今後の図書館経営について」 「B. 電子ジャーナルなどのデジタルコンテンツに関する諸課題について」 「C. NACSIS-CAT/ILL の課題解決に向けて」
	7 月 1 日	第 1 回マネジメント・セミナー開催。(名大) ・テーマ「国立大学経営と図書館マネジメントの課題」
	10 月 27 日	平成 17 年度第 3 回理事会開催。(北大) ・国立大学図書館協会記念基金規程(案)、国立大学図書館協会賞応募規程(改正案)、協会賞等専門委員会要項(改正案)を了承 ・平成 18 年度より職員の海外派遣を再開することを了承
	11 月 15 日	科学技術基本計画策定にあたり『学術情報資源の安定的確保に関する声明』発表。
	11 月 16～17 日 (西：岡山大) 12 月 8～9 日 (東：筑波大)	第 18 回国立大学図書館協会シンポジウム開催。 ・テーマ「機関リポジトリ：学術コミュニケーション機能回復の新たな方向を探る」
平成 18 年 (2006)	3 月 23 日	文科省『学術情報基盤の今後の在り方について(報告)』発表。

平成 19 年 (2007)	5 月 26 日	平成 17 年度第 4 回理事会開催。(東大) ・国立大学図書館協会記念基金事業趣意書(改正案)、海外派遣事業実施要項(改正案)を了承(改正案)を了承
	6 月 28 日	第 2 回マネジメント・セミナー開催。(学術総合センター) ・テーマ「図書館サービスと経営戦略」
	6 月 29 日	第 53 回国立大学図書館協会総会開催(東京) ・筑波技術大学、富山大学の加入承認 ・総務委員会、国際学術コミュニケーション委員会、学術情報委員会を常置とし、経営問題委員会の活動終了を承認 ・国立大学図書館協会記念基金設置のための規程(案)を承認 ・ワークショップ 「A. 機関リポジトリなどのデジタル・リソースに関する諸課題への取り組みについて」 「B. 大学図書館経営の諸課題と大学図書館職員の育成・確保について」
	10 月 26 日	平成 18 年度第 3 回理事会開催。(東北大)
	5 月 18 日	平成 18 年度第 4 回理事会開催。(東大) ・理事館と委員会のあり方について(委員会のバランス、理事館選出方法、地区割り等)について、秋の理事会で具体的な検討を行うことを了承
	6 月 27 日	第 3 回マネジメント・セミナー(福岡システム LSI 総合開発センター) ・テーマ「大学経営から見た図書館」
	6 月 28 日	第 54 回国立大学図書館協会総会(福岡) ・人材委員会を常置とすることを承認 ・理事会の下に学術情報流通改革 WG を設置することを了承 ・総会、マネジメント・セミナーの予算・決算の別会計化を検討すること ・ワークショップ 「A. 図書館組織、人事制度のあり方、人材育成の方策等について」 「B. 今後の図書館システムと利用者サービスの方向性について」
	9 月 5 日 (西:大阪大) 9 月 19 日 (東:筑波大)	平成 19 年度国立大学図書館協会シンポジウム開催。 ・テーマ「若きライブラリアンの海外大学図書館研修 Global Librarian Network の形成を求めて」
	10 月 26 日	平成 19 年度第 3 回理事会開催。(筑波大)
	11 月 9 日	「目録所在情報システム更新に対する要望について」を国立情報学研究所に対して提出
平成 20 年 (2008)	5 月 1 日	学術情報流通改革シンポジウム開催。(東大小柴ホール) ・テーマ「学術情報流通の改革を目指して～電子ジャーナルが読めなくなる!??」
	5 月 16 日	平成 19 年度第 4 回理事会開催。(東大) ・理事の選出方法、任期、監事の選出方法の変更について了承 ・理事数と地区割りの変更方針について了承し、秋季理事会で変更案を提出

平成 21 年 (2009)	6 月 25 日	第 4 回マネジメント・セミナー開催。(仙台) ・テーマ「学術情報基盤としての大学図書館一次期中期目標・中期計画に向けて」
	6 月 26 日	第 55 回国立大学図書館協会総会開催。(仙台) ・理事選出を地区で行い総会で報告了承を得る方式への変更を承認 ・北信越地区を関東地区と東海地区に分割統合し、理事数を含めた会則改正を臨時総会に諮ることを承認 ・ワークショップ 「A. 学習・教育支援を強化するために大学図書館は何をすべきか」 「B. 電子ジャーナルの継続的利用を目指した学術情報流通改革について」
	10 月 17 日	平成 20 年度第 3 回理事会開催。(一橋大) ・地区を 8 地区とし理事数を各地区 2 館とすることを了承 ・監事選出方法を、東西各地区からそれぞれ 1 館を地区で選出することを了承 ・次回マネジメント・セミナーは総会翌日に実施すること、マネジメント・セミナーと並行して「館長フォーラム」を実施することを了承 ・国公立大学図書館協力委員会の常任幹事館を東京、関東甲信越地区の 2 地区 4 理事館のうち 1 館が担当することを了承
	12 月 2 日 (西：京大) 平成 21 年 1 月 15 日 (東：東大)	平成 20 年度国立大学図書館協会シンポジウム開催。 ・テーマ「図書館職員としてのキャリア形成を求めるあなたに一望まれるキャリアパス制度を目指して」
	12 月 10 日	学術情報流通改革シンポジウム開催。(東大鉄門記念講堂) ・テーマ「学術情報流通の改革を目指して～電子ジャーナルが読めなくなる 2～」
	12 月 10 日	臨時理事会開催。(東大) ・同日開催されたシンポジウムの報告 ・会長、合同電子ジャーナル・タスクフォース主査連名によるエルゼビア・サイエンス・テクノロジー宛レター送付の報告
	2 月 27 日	臨時総会(郵送決議方式) ・地区割り と理事数の変更に伴う会則改正を承認
	3 月 16 日	『オープンアクセスに関する声明について～新しい学術情報流通を目指して～』を発表。
	5 月 18 日	平成 21 年度新理事会開催。(東大) ・今回より会長、副会長を理事会で選出 ・学術情報流通改革特別委員会の設置、学術情報委員会と国際学術コミュニケーション委員会の統合を了承
	6 月 19 日	第 56 回国立大学図書館協会総会開催。(新潟) ・学術情報流通改革特別委員会の設置、学術情報委員会と国際学術コミュニケーション委員会の統合を承認 ・地区割り 変更に伴う総会当番地区ローテーションについて、関東甲信越地区を東北地区の次とすることを承認

平成 22 年 (2010)		・ワークショップ 「A.学術情報流通改革における電子ジャーナル及び学術機関リポジトリの整備」 「B.学習・教育活動と連携した図書館サービスについて」
	6 月 20 日	第 1 回国立大学図書館協会館長フォーラム開催。(万代シルバーホテル) ・テーマ「第 1 期中期目標・中期計画に関する総括」「魅力ある図書館をどう構築するかー学生・教員・地域住民の 3 方向を考えるー」
	6 月 20 日	第 5 回マネジメント・セミナー開催。(万代シルバーホテル) ・テーマ「大学運営の中での図書館職員のあり方」
	7 月	文科省『大学図書館の整備及び学術情報流通の在り方について (審議のまとめ)』発表。
	11 月 20 日 (西：神戸大)	平成 21 年度国立大学図書館協会シンポジウム開催。 ・テーマ「利用者から学ぶ一個性的で多様な図書館サービスに向けて」
	12 月 15 日 (東：一橋大)	
	11 月 30 日	平成 21 年度秋季理事会開催。(名大) ・平成 22 年度海外派遣事業の実施案の一部修正を了承 ・委員会の改廃も含めてその目的・活動を適宜見直すことを確認
	12 月 14 日	学術情報流通改革シンポジウム開催。(東大小柴ホール) ・テーマ「学術情報流通の改革を目指して 3～ビックディール後の電子ジャーナル契約のあり方を探る～」
	2 月 8 日	臨時理事会開催。(東大) ・「国立大学法人における公共サービスの改革状況に関する調査」の経緯及び内閣府官民競争入札等監理委員会国立大学法人分科会ヒアリングに関する報告 ・協会で作成する基本的な考え方を各会員は参考にするよう要請
	5 月 20 日	平成 22 年度新理事会開催。(東大)
	6 月 18 日	第 57 回国立大学図書館協会総会開催。(札幌) ・ワークショップ 「A. 今後の大学図書館の業務運営の在り方について」 「B. 大学図書館の新たなサービス展開と図書館組織・人材育成について」
	6 月 19 日	第 2 回国立大学図書館協会館長フォーラム開催。(札幌パークホテル) ・テーマ「電子ジャーナルの価格高騰にどう対処するかー研究者の立場から考えるー」「学内学術情報の収集・流通・活用・発信システムと図書館の役割」
	6 月 19 日	第 6 回マネジメント・セミナー開催 (札幌パークホテル) ・テーマ「大学図書館管理職の新たな意識改革」
	8 月 10 日	国立情報学研究所に『学術機関リポジトリに関する要望について』を提出。

平成 23 年 (2011)	10 月 13 日	「国立情報学研究所と国公立大学図書館協力委員会との間における連携・協力の推進に関する協定書」締結
	11 月 10 日	平成 22 年度秋季理事会開催。(京大) ・平成 23 年度は館長フォーラムを開催しないことを確認 ・電子ジャーナル・コンソーシアム連携組織の設置について、方向性を了承 ・国立大学協会による『公共サービス改革基本方針の国立大学法人における運用について』を報告
	11 月 19 日 (西：奈良女子大) 12 月 3 日 (東：お茶大)	平成 22 年度国立大学図書館協会シンポジウム開催。 ・テーマ「大学図書館職員の「強み」と「弱み」：コアコンピテンシーを考える」
	12 月	文科省『大学図書館の整備について（審議のまとめ）－変革する大学にあって求められる大学図書館像－』発表
	12 月 10 日	国立情報学研究所・国立大学図書館協会共催シンポジウム開催。(東大鉄門講堂) ・テーマ「大学からの研究成果オープンアクセス化方針を考える」
	1 月 18 日	学術情報流通改革シンポジウム開催。(東大鉄門講堂) ・テーマ「学術情報流通の改革を目指して 4～大手出版社が考えるビッグデータ後の契約モデル～」
	3 月 10 日	国立情報学研究所から『学術機関リポジトリに関する要望について』の回答。
	3 月 11 日	臨時理事会開催。(東大) ・国大図協のコンソーシアム活動を大学図書館コンソーシアム連合へ移行することを承認 (14 時 46 分に発生した東北地方太平洋沖地震により中断、散会。以下についてはその後メール協議を行い、3 月 30 日付けで承認。) ・大学図書館コンソーシアム連合運営委員会への派遣委員 ・学術情報流通改革検討特別委員会の第 59 回総会までの設置
	3 月 11 日	事務局から各会員館へ被害状況の報告依頼のメール送信。
	3 月 17 日	事務局から被災大学所属の教職員、学生向けの図書館サービス提供に関する情報提供の依頼のメール送信。
	3 月 18 日	会長名による被災大学関係者への支援依頼のメール送信。
	3 月 18 日	東日本大震災対応の国立大学図書館協会のホームページ立ち上げ。
	3 月 23 日	事務局から各会員館へ被害状況の 2 回目の報告依頼のメール送信。
	4 月 1 日	大学図書館コンソーシアム連合 (JUSTICE) 発足。
	5 月 13 日	平成 23 年度新理事会開催。(東大) ・「委員会の設置について（申し合わせ）」の実施期間を平成 25 年度新理事会まで延長することを了承

平成 24 年 (2012)		・「学術情報の利用に関する調査」への協力依頼
	6 月 16 日	第 58 回国立大学図書館協会総会開催。(広島) ・ワークショップ 「A. 大学図書館コンソーシアム連合 (JUSTICE) と今後の電子リソースの整備の在り方について」 「B. 災害時における図書館の危機管理」
	6 月 17 日	第 7 回マネジメント・セミナー開催。(グランドプリンスホテル広島) ・テーマ「変革の中で大学図書館の戦略的方向を探る」
	11 月 25 日	平成 23 年度国立大学図書館協会シンポジウム開催。(京大芝蘭会館山内ホール) ・テーマ「電子書籍と図書館」
	12 月 1 日	平成 23 年度秋季理事会開催。(広島大) ・大学図書館の「教育学習支援」に関する委員会設置を了承 ・JUSTICE の安定的・持続的に運用するための活動経費・人員確保等について協議し、論点を整理した上で、各地区での意見交換の結果を事務局へ報告することを了承
	2 月 7 日	学術情報流通改革シンポジウム開催。(東大生産技術研究所コンベンションホール) ・テーマ「学術情報流通改革を目指して 5～電子ジャーナル・コンソーシアムとバックファイルの整備～」
	5 月 18 日	平成 24 年度新理事会開催。(東大) ・教育学習支援検討特別委員会の設置要項(案)を了承 ・学術情報流通改革検討特別委員会を学術情報委員会に統合する提案を了承 ・JUSTICE の新体制(会費制)への移行について協会として支援していくが参加の判断は個々の会員にゆだねることを了承
	6 月 21 日	第 59 回国立大学図書館協会総会開催。(神戸) ・教育学習支援検討特別委員会の設置、学術情報流通改革検討特別委員会の学術情報委員会への統合について承認 ・ワークショップ 「A. 大学図書館の教育・学習支援機能の強化について」 「B. 電子リソースの整備における大学図書館コンソーシアム連合 (JUSTICE) の役割と今後の在り方を考える」
	6 月 22 日	第 8 回マネジメント・セミナー開催。(神戸大出光佐三記念六甲台講堂) ・テーマ「一歩先の大学図書館戦略を描く～知識イノベーションをめざして」
	11 月 13 日	平成 24 年度秋季理事会開催。(九大) ・平成 25～27 年度の海外派遣事業の実施を了承、同事業実施要項、応募要領の改正を了承 ・マネジメント・セミナーのあり方について意見交換し、引き続き検討することを了承 ・協会の会則の改正を目指すことを確認し、「監事の選出について(申し合わせ) 改正案」と「理事会の開催について(申し合わせ)(案)」を了承

平成 25 年 (2013)	12 月 3 日	平成 24 年度国立大学図書館協会シンポジウム開催。(千葉大アカデミック・リンク・センター) ・テーマ「ラーニング・コモンズ再考」
	1 月 24 日	「学術情報流通セミナー改革に向けての共通認識のために」開催。(東大小柴ホール)